

久喜市議会議員 宮崎あきの

あつき～通信 第13号

《活動報告》

eメール aki@aki-m.net 【公式ホームページ】▶

✕ @miyazaki\_aki\_ facebookページ 宮崎あき |Q| で検索。



発行: 希望 (久喜市議会 無会派名)

『久喜で生きる』を支えたい。

# 迷走の末、多額の予算は無駄に!

## 市長『久喜市でのフルマラソン断念』

今年1月29日、やっと市長公約のフルマラソン開催を『断念する』と発表がありました。

- ＜断念理由＞ ・運営費が1億1000万円かかる ・多くのマラソン大会が定員割れ
- ・長時間の交通規制が行われ、ボランティアの確保が懸念される

上記の内容は、私が1年以上前から指摘し続けてきた事です!



- ＜予算額＞ ・令和4年度、コース設定を担う業者に**44万円**
- ・令和5年度も、**774万円**で契約。※このうち、すでに実施された業務分を支払う予定
- ・この計画にかかった職員の人件費は、**225万円** (一般質問の答弁。事務事業評価の算出方法)

予算書通りでは、トータル1000万円を超えます。(違約金もかかるのでは?) フルマラソン計画にこれだけの予算をかけたことを市は「無駄ではなかった」「久喜マラソン大会の参考になった」と主張しています。

- ＜参考になったという内容＞ ・久喜警察署から、久喜マラソンの苦情や課題、コース上の課題を聞いた
- ・コース設定の仕方、ボランティアの集め方や配置、他の大会の状況が分かった

この内容を得るのに、こんなにお金はかからないはず・・・

『開催を断念したから解決!』ではありません。市民の大切な**多額のお金が無駄**にされました。

私は「マラソンに関しては、しばらく久喜マラソン大会の人気を取り戻すことに全力を注ぐべき」と訴えました。

## 【ただ読み上げるだけ?それが市長の仕事?】

2月29日、私の一般質問に下記2点の内容がありました。

どちらも、**市長の発言を元に『市長はどう考えるか?』**と質問通告していました。

- ①同様の事例が繰り返されないために「フルマラソン計画」の総括をすべき
- ②命に関わる問題であり、市に大きな責任がある「久喜東小学校の外壁落下事故」後の保護者対応について、市が誠実な対応をしていない

答弁は担当部長からのみでした。『**市長から答弁をお願いしたい!**』とお願ひした所なんと、市長から『**読み上げる役割が変わるだけだ**』(読めというなら、読むけど?)

というニュアンスの発言をされました。その時の口調と態度で、私は馬鹿にされているのかなと感じました。

私の一般質問が終わった直後、市長の態度を見かねた猪股議員が“動議”を出してくださいました。

『議会というのは、議員の質問に対して執行部が答弁をすところ。原稿を読み上げる場所ではない。市長の発言は極めて不穏当であり、議会軽視であり、そして私たちに付託をしている市民をも馬鹿にするものである。市長はそうした発言について反省をし謝罪をし、取り消すことを求める』と。

「議員からの答弁者指名があっても、執行機関は応じる義務はない」という内容の法令がありますが、今回は事務的な説明ではなく、政治姿勢や施政方針に関わるため、市長が自身の言葉で答弁すべきでした。



## 5億円の立体通路でフライング入札?!

前回の活動報告でお知らせした、東鷲宮の新たな複合施設と東鷲宮駅前の市道をまたぐ、5億円もの立体通路ですが、2月議会で「設計の完了前に工事入札を実施していた」という問題が発覚しました。



通常、設計は「検査」を経て、正式な成果物となりますが、今回は**検査の一部が実施されていません**でした。もし設計が変更になったら、工事の入札はやり直すのでしょうか？この立体通路は、9月議会でエスカレーター追加設置案が急に出された事も含め内容に疑問点が多すぎます。

## 令和6年度の予算案に 下記の理由で「反対」しました！

市は4月1日の時点で、市の貯金（財政調整基金）をほぼ取り崩し、残高見込みは**250万円**ほどです。令和7年度以降の予算編成に大きな影響を及ぼす為**高額の新規事業は先送りして財源を確保すべき**です。

また久喜マラソンは、令和5年度、定員5200人に対して3280人と、令和4年度に続き大幅な定員割れでした。ランニングブームが去って、久喜市の努力だけでは改善が難しい中、令和6年度も同じ定員で予算が組まれています。**定員の数に関係なくかかる“固定経費”を減らすべき**と考えます。

## 2月議会で提案された「公共施設個別施設計画」の内容に**問題が!**

この計画は、市が保有している公共施設を縮小・統廃合するもので、市は「将来の人口減などを前提として」としていますが、令和42年に65歳以上の方が35.8%まで大幅増加することが見込まれた計画とは思えません。

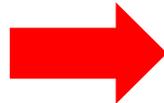
### 【令和9年度までに除却年度が明確になっている施設】

- ・令和7年度に、地域交流センター(青葉地区)を**除却**  
→青葉コミュニティーセンターに集約
- ・令和8年度に、東町集会所を**除却**(それ以降、太田集会所も除却)  
→久喜東コミュニティーセンターに集約
- ・令和9年度に、本町集会所を**除却**  
→久喜中央コミュニティーセンターに集約
- ・令和9年度に、鷲宮・菖蒲の温水プール、鷲宮福祉センター、菖蒲老人福祉センターを**除却**

※他にも、14年後までに廃止される施設が複数あります。

ごみ処理施設の25億円の賑わい機能や、5億円の立体通路など、市民ニーズがあると思えない事業には多額の予算を投じる一方でこれら施設は修繕や建て替えをせずに除却。

私は地元の東町集会所を取り上げ、右記の討論をして「反対」しました！



### 【反対討論の内容】

東町集会所の令和4年度の利用者数は7623名、時間帯別平均稼働率は、午前79%、午後67%であり夜間を含め一般利用施設の28施設の中で2番目に高いです。近隣の久喜東コミュニティーセンターも予約が非常に取りにくい状況のため、東町集会所を利用してきた方をそちらへ案内することは、現実的に厳しいです。**広域で利用してきた東町集会所は、除却ではなく建て替えまたは修繕すること**を強く要望します。

また、これは**東町集会所の事だけではありません**。久喜市は高齢化率が高く、車の運転免許を返納される方も今後ますます増えていきます。自転車に乗ることができる方も少なく、離れた場所の施設を利用する事は容易ではありません。

市民に**身近な地域の施設をどんどん無くして集約していく考え方そのもの**が、市長が言う「誰一人取り残さない」事ともかけ離れています。

この計画は、建物除却ありきで、利用する市民の状況や気持ちを考えていないものであり、到底理解できません。



### 【11月議会の欠席・旧姓使用について】

昨年11月、開腹手術で子宮全摘をしました。(子宮筋腫が理由)女性にとって精神的にも大きな事でしたが、福祉の観点で、これまで気づかなかった多くの事を学べたため、今後の議会活動に活かしていきます。11月議会や行事を数日お休みし、ご心配やご迷惑をおかけした方にお詫び申し上げます。

また、今年1月に結婚いたしました。12月の会議で、久喜市議会では、「**旧姓使用**」が認められましたので、「宮崎」のまま活動させて頂く事をご報告いたします。

## 宮崎あきプロフィール

1978年10月30日生まれ 久喜市出身 A型

2016年～ 埼玉県内の様々な介護施設で5年以上勤務

2022年 久喜市議会議員選挙に初出馬し当選

- 資格 ● 介護福祉士／介護予防指導士／栄養士  
認知症介助士／ランニングアドバイザー
- 趣味 ● ランニング、パンダ鑑賞とグッズ収集

※活動動報告を全戸にお届けすることが難しいため、前号はホームページから、またはご連絡ください。

【連絡先】宮崎 あき 久喜東5-33-9 eメール aki@aki-m.net (匿名のお問い合わせには返信できかねます)